

# 2018 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” イベント関連事業内容企画にあたっての主な留意点

平成30年1月

公益社団法人 日本獣医師会

動物感謝デー事務局

以下に、応募要領記載事項等に係る留意点を掲載いたします。この内容にご留意いただいた上で、企画案の作成をお願いいたします。

- 1 事業において実施する市民参加型イベントの名称は「2018 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」とする。ただし、表示等で「World Veterinary Day」を単独で用いる場合は、定冠詞をつけ、「The World Veterinary Day」とする。
- 3 会場は東京都駒沢オリンピック公園中央広場、開催日は平成30年12月1日（土）とする。企画提案においては、これ以外の開催場所を提案することができる。ただし、その場合には応募者が自ら会場の確保を行うものとする。
- 4 開催前日の会場設営は、平成30年11月30日午前7時から午後6時までの間に行うこととする。
- 5 開催に向けて、関係各所との連絡調整及び会議へのオブザーバー出席を行い、今後決定する事項に従うこと。
- 6 出展企画やステージ企画について、本会が今後指示するものについては費用に関する事前協議を行ったうえで実施すること。
- 7 イベントの広報と趣旨の普及・啓発のため、以下の制作物を作成すること。数量等は本会が今後定める。
  - ①イベントポスター ②イベントチラシ（①、②は関係者及び周辺自治体配布分を確保）
  - ③イベントプログラム ④スタッフジャンパー（ビニル素材は不可）
  - ⑤イベントホームページ ⑥会場内掲出用イベント告知のぼり

8 企画にあたり、以下の点を考慮すること。

- (1) 企画内容は、ワン・ヘルスの概念を踏まえた本会活動指針「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い」に沿った企画内容とし、子供・ファミリー向け企画を含む。
- (2) 雨天時の対応を考慮する。荒天等におけるイベント中止時の対応については契約時に別途定める。
- (3) 来場者による獣医師体験企画及び獣医師の幅広い職域を紹介するステージ企画を実施する。
- (4) 展示ブース数は、100 小間程度を確保する。
- (5) 関連団体の出展の場を確保する。
- (6) 獣医学系大学の出展の場を確保し、国内の獣医学系大学が一堂に会する場としての価値をPRできるように、演出・広報対策等に配慮する。(教育関連産業における広報対策や中学・高校生向けの特別チラシ配布等)
- (7) 地方獣医師会の出展の場を確保する。
- (8) 関連団体、獣医学系大学、地方獣医師会の出展については、展示物の運搬やブース内の施工、水、電力・ガスの供給、食品の保管対策等は主催者側が対応する。
- (9) 地方の特産品（乳製品含む）の販売・頒布、食品の販売・頒布が可能な設定とする。
- (10) 一日獣医師体験教室、日本獣医学生協会企画等に用いる来場者向け景品（2,000 個程度）を用意する。
- (11) 生きた動物と触れ合える企画に際しては、動物愛護・動物福祉の観点から適切な展示方法をとる。
- (12) 照明、音響、スライド及び動画投影用スクリーン装置を備えたステージ（幅 10 メートル×奥行 6 メートル以上）を設置し、ステージ前に 120 席以上の客席を設置する。
- (12) 馬を含む動物たちが活動できるスペース（18 メートル四方程度）及び動物ふれあいコーナー（20 メートル×15 メートル）、犬による競技等の実演が可能なアトラクションスペース（30 メートル×10 メートル）を会場に確保する。（動物関連団体の出展等に使用）
- (13) 報告書の作成様式は、イベントの内容等に加え、施工、スタッフ配置、物品等の状況を含む詳細なものとする。
- (14) 今後の企画検討段階における新提案に柔軟に対応可能な開催計画とする。